

てんがし新聞

09.12.No151
発行 市岡日出夫
発費 0883-88-5292

観光だ、地域再生だ、体験だ、様々な所が何度も聞かされた。その行動のなかで、とがいてきた09年とあとの10月となりまして。活彩谷村も、四半目をあと三ヶ月で終えようとしていきます。

三好市では、来年四月には、市長をはじめ、市議会議員の選挙が予定されています。東祖谷村も三名の市議会議員が選出される。次回は、三好市全体から選出する方向がすのび、必おこと、東祖谷村が必お何名という事にはならず、合併した事がポイント。アローのよつに、年々重くのしかかってくることでございよう。

反面、観光の面では、三好市にならざる方が、東祖谷の注目度はアップしていき、行政からのアローの風は吹いていくことは確かはまようございよう。

しかしながら、その効果はといえ、まだまだ本物モードとはいえない状況ではないうございようか。

村のより面を継り、自分たちの村活動をしていこうと、09年三月活彩谷村として独立宣言を発し、様々な活動を、小まにしながら、続けて来ていますが、この一年を振り返った時、どう頑張ったのや、とは言いがたい内容だったのではないうございようか。

それは、村長がある私の責任は大キ、その時々、どうすべきかの方向と、対策をこすこととが出来なかつた事に素のゆるとあつていいます。皆、その、やきやきをぶがく

活彩谷村の四年目

活彩



の四年目



ら、動きの停滞はやむをえないときやえるのかも知れません。

「元気の旗」の活動も、ゆるくりとはながっています。正に、東祖谷以外で注目されて、東祖谷内では、注目度も低く、今後、老人世帯がふり、一人暮らしも増える地域でのまえあう活動の重要性は、高くなることはおもいます。

私達自身が必要とこはい限り、誰かがやってくれるとはおもいません。

松岡文庫の本も毎月増えています。早く中心とする図書室が、不可避です。

「目えの事」のとり組みと、明日の為のとり組みのバリエーションをどうとつて活動をしていくのか。まさに、この数年は、活彩谷村の存在が問われる正念場を迎えるといえます。

活彩の村民の皆さん、どうしますか、

正念場

はやくも

こくまっただのかも知れませんが、唯一の希望の星は、はやく連のばいさんの活カです。その行動力に引っぱられ、後押しして、畑を耕し、ツヤガサを植え、収穫も出来ました。また、ソバも昨年同様、ツヤガサの後、ソバをまき、ソバ刈り等、順調に活動が出来ました。

ただ、はやく連の畑にこそ、支援する、参加する村民が増えないう限り、持続する、ことは困難にたつてきます。

定例会に至っては、ただ休会中という状況です。村長がある私が呼びかけもしなかつたのが大きな点ですが、誰からも定例会についてこの話も聞きません。相互理解と、統一した目標を作り出されるのがよか

